

こっこめ通信 09 2012

「おかあさんは大変です」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

ビジターセンターの8月の来館者は家族連れや小グループの方が多く、団体利用をのぞいて4000人を超えました。これはここ最近にはなかった傾向です。また、7月21日から植物公園内で夜間に開催されていた「光るキノコ無料観察会」も3400人もの方々にご参加いただき、楽しい夜を過ごして頂けたと思います。

さて、今回は「泥で巣を作るキゴシジガバチ」「夏休み特別行事報告」「産卵したアカウミガメのその後」についてのお話です。

ドロで巣を作るキゴシジガバチ

7月中旬、ビジターセンター職員入口付近で、一生懸命に巣を作る昆虫がいるのに気がつきました。黄色と黒の縞模様になっている脚と細く黄色い腹柄が特徴のこの虫は、アナバチ科のキゴシジガバチでした。キゴシジガバチは、過去に八丈島での記録はなく、初記録と思われます。

巣を作り始めたのは7月15日。水栓近くのドロを何度も何度も運んで、たこつぼのような筒状の巣を作っ



ていました(写真①)。1つの巣が出来上がると、さらにその上に筒をいくつも積み上げていきます(写真②)。巣を作っている泥の中に、火山灰の赤いスコリアが混じっていて八丈島らしいですね。

アナバチ科は、いろいろな虫を襲い、毒針で麻痺させ、巣穴に運び込み、生まれてきた幼虫の餌とします。このキゴシジガバチの獲物はクモ！筒状に巣が出来上がった後、ずっと観察していると、獲物のクモを持って帰ってきました(写真③)。写真を見るとヤマシロオニグモのように見えます。ひとつの筒に数匹のクモを入れるということですが、何匹入れたかは確認できませんでした。最後に入口を泥でふさぎ、ひとつの巣が出来上がります。



数日間作り続けた巣は、いくつも重ねられ、縦80mm・横65mm・厚さ35mmと、とても大きなものになりました(写真④)。そして最初の巣を作り始めた時から約1ヶ月後、泥の巣に小さな穴が空いていることに気がつきました。どうやら、巣の中で蛹になり、成虫になって脱出したようです(写真⑤)。最終的には40個の穴が空き、すべてが成虫になったようです(写真⑥)。40の部屋を作り、ひとつひとつに餌となるクモが数匹入っていたわけですから、巣を作るのも、クモを見つけて捕まえるのも大変な作業ですね。

巣はそのままにしてありますので、見たい方はビジターセンターまで！



「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

夏休み特別行事報告

24年度も夏休み期間中にいくつかの特別行事を開催しましたので、そのご報告をいたします。

開催日	行事名	定員	参加	講師コメント
7/21	夜の昆虫観察会	20	20	雨上がりで多くの虫が期待できる条件だったが、この日は気温が上がらず、思ったより昆虫の出現が少なかった。
7/29	草木染め体験教室	10	2	参加者は小学生の姉弟二人だけだったが、講師もリラックスして和やかな行事になった。(講師をネイチャークラブにお願いした)
8/2	潮だまり探検隊	15	10	台風の影響で東風が強く、底土東浦海岸の潮だまりにも波が入ってくる状態だったので海水浴場の防波堤近くで実施した。
8/5	三原山縦断トレッキング	20	12	最近を利用する人も少なく、ある程度のブッシュは予想していたが、想像以上に藪に覆われた場所が多かった。人によってはかなり冒険気分の山歩きになったようだ。
8/13	夏の星空観望会	20	5	雲が多く星空観望には不向きな天気だったが、流れる雲の間から夏の代表的な天体をいくつか確認できた。
8/18	潮だまり探検隊	15	8	前回ほどではなかったが潮だまりに波が入り水中が見にくい状態だったので、少し北側へ離れた潮だまりで実施した。
8/19	火山灰アート	10	5	参加者が低学年ということもあり、保護者の方のお手伝いがかかり入ってしまったが、もっと子供だけで自由にさせても良かった。
8/26	竹ビーズでクワガタ	10	8	時間が余ったため、亀の作成もしたが、難しいこともあり、低学年は途中で少し飽きてしまったようだった。



夜の昆虫観察会



三原山縦断トレッキング



火山灰アート



草木染め体験教室



潮だまり探検隊



竹ビーズでクワガタ



夏の星空観望会

産卵したアカウミガメのその後

6月8日に6年ぶりに底土海水浴場で産卵したアカウミガメ。いままでは60日前後で子ガメは砂の中から脱出てきていましたが、今年は60日経過しても全く脱出てくる気配がありませんでした。過去4回の産卵は6月下旬が多く、気温による積算温度が早くに達成していたのに対し、今年の産卵は6月上旬であり、さらに涼しい日が多く積算温度への道が長かったようです。

ようやく71日目の18日の夜になって、子ガメを確認した方が現れました。19日の朝には子ガメの足跡が確認され、支庁港湾課は同日夕方に卵を掘り起こすことを決めました。掘り起こした結果、孵化した卵は27個、孵化していない卵は88個と確認され、孵化していない卵は再度、埋め戻されました。この時、砂の中からは7匹の子ガメが見つかり、海へと自力で歩いていったそうです。しかし、残念ながら3匹は力尽きて、砂の中で命を落としてしまいました。埋め戻された88個の卵は翌週に再度掘り起こされましたが、すべて孵化することなく終わってしまいました。

子ガメが出てくるのを楽しみにしている方にとっては、掘り返して埋まっている子ガメを助けたいと思うかもしれませんが、そこは自然にまかせてもいいのではないのでしょうか？ 孵化する確率が限りなく低くなってから、掘り返し、データを取ることは必要と考えています。これらのことはいろいろな機関と協議して、今後のウミガメの産卵に備えていければと思っています。



八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は 8 月 20 日と 21 日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成 24 年第 8 回） 参加者：VC 菊池、宇佐

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）
草本			31	ハチジョウシュスラン	蕾	シダ植物	
1	アオツツラフジ	花と実	32	ヒナギキョウ	花と実	1	イシカグマ
2	アオノクマタケラン	若い実	33	ヒメクグ	実	2	イノモトソウ
3	アシタバ	実	34	ヒメジョオン	咲き残り	3	オオイタチシダ
4	アメリカスズメノヒエ	花と実	35	フウトウカズラ	実	4	オオタニワタリ
5	イガガヤツリ	実	36	ヘクソカズラ	花	5	オクマワラビ
6	イヌガラシ	花	37	ホソバツルメヒシバ	実	6	オニヤブソテツ
7	イワニガナ	花	38	メヒシバ	花と実	7	カニクサ
8	ウラジロチチコグサ	実	39	ヤマイ	実	8	タチクラマゴケ
9	ウリクサ	花				9	タチシノブ
10	オオアレチノギク	実	木本			10	タマシダ
11	オオバコ	実	1	アカメガシワ	実が残る	11	ナチシケシダ
12	オニタビラコ	花	2	イヌザンショウ	花	12	ナンカイイタチシダ
13	オヒシバ	実	3	イヌビワ	実	13	ノキシノブ
14	カタバミ	花と実	4	エノキ	実	14	ハチジョウカナワラビ
15	カヤツリグサ	実	5	オオバヤシャブシ	実	15	ハチジョウシダ
16	クグガヤツリ	実	6	オオムラサキシキブ	実	16	ハチジョウベニシダ
17	クサイ	実	7	ガクアジサイ	実	17	ヒトツバ
18	クズ	蕾	8	カラスザンショウ	実	18	ホシダ
19	コニシキソウ	花と実	9	サカキカズラ	蕾	19	ホラシノブ
20	コミカンソウ	花と実	10	シマクサギ	花	20	マツバラソ
21	シマササバラソ	実	11	スダジイ	実の虫こぶ	21	マメツタ
22	シマスズメノヒエ	花と実	12	タイミンタチバナ	実	22	ミゾシダ
23	セイヨウタンポポ	花	13	テイカカズラ	実	23	ヤマイタチシダ
24	タケダグサ	花と実	14	トベラ	実	今回はシダ植物 23 種を含む 82 種の植物を観察しました。キャンセルもあって一般の参加が無く、データを残すためにスタッフだけで調査を行いました。クズの蕾やホルトノキの若い実などに少しだけ秋の気配が感じられました。	
25	タチスズメノヒエ	実	15	ハチジョウキブシ	実		
26	チチコグサモドキ	実	16	ヒサカキ	実		
27	ツルボ	花	17	ホウライカズラ	若い実		
28	テンツキ	実	18	ホルトノキ	若い実		
29	トウバナ	花と実	19	ヤブツバキ	実		
30	ハキダメギク	花と実	20	ヤブニッケイ	実		

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、公園内でも見られる「クロアナバチ」にスポットを当ててみたいと思います。



クロアナバチ

Sphex argentatus

膜翅目アナバチ科、北海道から南西諸島まで広く分布しています。

大きさは雌の方が大きく、体長は 25 ～ 30mm になります。地面に深い横穴のような巣を作り、自分より大きなクビキリギスやヒメクダマキモドキなどの直翅目を狩り、巣穴に押し込みます。8 月頃には、植物公園内でも狩りの姿や巣を掘る姿など観察できます。

2012 八丈ビジターセンター 9 フ로그램カレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
 30 ガイドウォーク 04:59 10:59 17:02 23:12			 この色の日は 特別行事があります			1 ガイドウォーク 05:04 11:25 17:48 23:39
2 ガイドウォーク 05:42 11:54 18:10	3	4	5	6	白露 7	 8 ガイドウォーク 10:15 03:24 20:32 14:29
9 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 12:36 04:36 21:17 15:09	10	11	12	13	14	15 ガイドウォーク 04:11 10:31 16:53 22:48
 16 ガイドウォーク	17 ガイドウォーク	18	19	20	21	秋分 22 ガイドウォーク 八丈学講座 「秋の植物観察会」 10:22 02:57 20:19 14:44
 23 ガイドウォーク 12:20 04:11 21:20 16:07	24	25	26	27	28	29

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
9/9（13:30～ 約1時間半） 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

八丈学講座 「秋の植物観察会」

毎月行っている八丈学講座。今月は、鴨川ホタル水路で秋の植物たちを観察します。
9/22（13:30～ 約1時間半） 中学生以上
鴨川ホタル水路集合・解散 参加費：50円 定員：15名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち
11:00～ おじゃりやれ 八丈島
14:00～ おじゃりやれ 八丈島
15:00～ おじゃりやれ 八丈島
16:00～ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2012.9.1 第136号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

海も山も楽しめるのが島の良いところ！でも今年は、天気が良くても海が時化している。そんな日が多かったように感じます。
また、8月上旬より、ビジターセンター内の売店が「八丈民芸やました」さんによって再開されました。ぜひご来店ください！（高）